

本日の記者会見の案件は、2件でございます。

初めに、「令和4年度各会計決算状況について」ご説明させていただきます。

一般会計、3つの特別会計及び4つの企業会計、合わせて8会計の「令和4年度決算の概要」がまとまりましたので、発表いたします。

私からは総括的なところと、財政健全化指標についてお話をさせていただきます。

はじめに、一般会計の決算では、歳入 歳出の差し引きに繰越財源を確保した実質収支が、約15億9千万円となり、前年度に比べ、3億4千万円ほど減^{げん}となりました。

次に、特別会計・企業会計の決算では、病院事業会計で、医業収益はやや回復し、新型コロナウイルス対応に関する補助金の活用などにより、累積資金収支はプラスを維持しております。

次に、財政健全化指標の数値について【速報値】ですが、

「経常収支比率」が、88.1％、

「実質公債費比率」が、7.1％、

「将来負担比率」が、63.3％、

「公債費比率」が、10.7％ となり、健全性は確保されている結果となっております。

人口減少や少子高齢化など、時代の変化に柔軟に対応していくためにも、財政基盤のさらなる強化にむけて、今後もしっかりとした財政運営をしてまいりたいと考えております。

なお、正式な比率は、監査委員の審査を経て、9月定例会に報告をさせていただく予定でございますので、よろしくお願いいたします。

詳細につきましては、財政部長から説明いたします。

【財政部長】

「令和4年度決算の概要」について説明いたします。

資料の2ページは、一般会計と特別会計の決算概要です。

一般会計の決算は、歳入歳出差引に繰越財源を確保した実質収支で、令和3年度決算に比べて、3億4,468万1千円少ない、15億9,526万2千円となりました。

この実質収支約15億9,000万円の要因ですが、主に、収入で、市税や譲与税、地方交付税などが予算額より上振れたことによるものでございます。また、使途についてですが、令和5年度の当初予算の計上分の1億円と、扶助費などの執行残に伴う国庫支出金等返還金で約3億円は、すでに確定しておりますが、これらに加えて、物価高騰への対応など、令和5年度の補正予算の財源や、翌年度当初予算の財源対策などへ活用したいと考えてございます。

次に、一般会計の歳出規模は、前年度に比べ、約35億円の減となっております。

その主な要因は、令和3年度よりも、新型コロナウイルス感染症に関連する事業の執行額が減少したことによるものでございます。

次に4ページの市税の状況をお願いいたします。

市税収入の総額は288億690万4千円で、昨年度に比べ8億3,916万4千円、【3.0%】の増となっております。

その主な要因は、法人市民税で、令和3年度決算で新型コロナウイルス感染症の影響を受け減収となったものの、令和4年度決算では前年度と比較し全体的に業績が上向き傾向であったことにより、8.9%

1億7,157万5千円の増となったことや、固定資産税で、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業への減免が令和3年度で終了したことから、4.2% 5億5,546万8千円の増となったことなどによるものでございます。

次に、収納率でございますが、現年度分について99.4%、全体では96.9%で、昨年より0.1ポイントの増加となりました。道内主要10都

市では、現年度分で第5位となっております。

2ページに戻っていただき、特別会計の実質収支をご説明いたします。

国民健康保険事業会計は、532万2千円、

介護保険事業会計は、4億5,734万円、

後期高齢者医療会計は、7,970万5千円 となっております。

次に、3ページ、企業会計でございますが、

水道事業会計は、

単年度資金収支、4,619万6千円、

累積資金収支額、18億949万4千円、

下水道事業会計は、

単年度資金収支、1,360万5千円、

累積資金収支額、16億2,073万6千円、

市立病院事業会計は、

単年度資金収支、10億2,113万6千円、

累積資金収支額、25億1,009万3千円、

公設地方卸売市場事業会計は、

単年度資金収支、2,705万2千円のマイナス、

累積資金収支額、3億7,697万6千円 となっております。

最後に、6ページをお願いします。一般会計の市債残高及び基金等残高の推移でございます。

上段は、一般会計の市債残高の推移でございますが、平成8年度に547億円だった市債の残高は、平成11年度の751億円をピークに減少しますが、平成24年度から増加し、今年度の現時点での見込みでは、臨財債を含め876億円となっております。

下段は、基金残高等の推移でございますが、折れ線グラフは、基金全体の推移を示しており、平成8年度に119億円あったものが、その後の財政状況より減り続け、平成20年度には22億円と最も低くなりました。

平成25年度には新たに公共施設整備基金を設置するなど、令和4年度末の残高は159億円となりましたが、令和5年度当初予算の財源対策などの取り崩しにより、現時点で133億円の残高見込みとなっております。

下の棒グラフは、財政調整基金や減債基金などの主な基金等の推移で、いわゆる市の貯金の推移を示しております。

以上で、各会計の決算概要の説明とさせていただきます。

【市長】

案件2「とまこまい^{こく}国^{ニーマルニーション}スπο2024における大会ポスターデザインの公表と大会マスコットキャラクターのユニフォームお披露目について」ご説明いたします。

詳細につきましては、担当参与から説明させていただきます。

【総合政策部参与】

それでは、来年1月から開催を予定している「とまこまい国スπο2024における大会ポスターと大会マスコットキャラクターのユニフォーム」について、ご説明いたします。

初めに、大会ポスターにつきましては、5月15日から6月30日の間、北海道在住の方を対象に募集を行い、計10件の応募の中から選出しております。こちらを作成して頂いた方は小樽在住の方で、8月に授賞式を開催する予定ですので、詳細が確定いたしましたらご連絡いたします。

次に大会マスコット「とまチョップ」の新しいユニフォームが完成いたしましたのでお披露目いたします。こちらの色はSNS等でアンケートを行い千人以上の方々の協力のもと選出しております。

大会マスコットである「とまチョップ」と一緒に大会開催のPRを行い、大会を盛り上げてまいりたいと考えております。

説明については以上でございます。

【市長】

今日は、とまチョップも来ておりますので、新しいユニフォームを着た「喜びのポーズ」を披露したいと思います。

それでは、とまチョップ、どうぞ！

最後に、案件にはごさいませんが、「苫小牧港管理組合の専任副管理者」につきまして、苫小牧港管理組合管理者として、ご報告をさせていただきます。

当管理組合の専任副管理者であります、平澤^{ひらさわ} 充成^{みつなり}氏が7月31日をもって辞職いたします。

後任者につきましては、苫小牧港管理組合規約に基づき、母体である北海道および苫小牧市からの推薦者を8月10日開催予定の苫小牧港管理組合議会臨時会において 同意をいただき、選任する予定でございます。

説明は以上でございます。ご質問があれば、お受けいたします。